

評価委員からの意見を踏まえた中期目標修正について

資料2

| 番号 | 委員名 | 該当箇所 | 委員意見要旨 | 修正案等 |
|----|-------|--|--|---|
| 1 | 二村委員 | 前文 (美術館の設置・運営) (修正後 (愛知県における美術館の沿革)) | 小見出しについて、一般的な美術館の設置・運営のことを記載していると思われる可能性があるため、変えた方がよい。 | 【対応案】 小見出しを「(愛知県における美術館の沿革)」に変更する。 (理由) 委員ご意見を踏まえ、変更する。 |
| 2 | 内田委員長 | 前文 (美術館の設置・運営) (修正後 (愛知県における美術館の沿革)) | 「欲求に答えていくことを目指し」の「答える」は「応える」の方がよい。 | 【対応案】 「答える」を「応える」に変更する。 (理由) 誤植のため、変更する。 |
| 3 | 内田委員長 | 前文 (美術館の設置・運営) (修正後 (愛知県における美術館の沿革)) | ①「県立美術館は、これまで、」から始まる段落について、一文が長いので、3行目で「検討した。その結果」などとして分けた方がよい。 ②同段落5行目に「等」と「など」の重複があるので、「など」は削除してもよい。 ③同段落全体について、段落ごとに1行あけているが、必要がなければ1行あけない方がよい。 | 【対応案】 ①「検討した結果、」を「検討した。その結果、」に変更する。 ②「など」は削除する。 ③1行あけている部分は詰める。 (理由) 委員ご意見を踏まえ、変更する。 |
| 4 | 小林委員 | 前文 (美術館の設置・運営) (修正後 (愛知県における美術館の沿革)) | 「賑わいの創出を図ることとした」とあるが、美術館だけではなく、それに関わる地域社会の活性化を意図していると思うので、例えば「利用者層の拡大や地域社会の賑わいの創出を図ることとした」や「地域社会の活性化を図ることとした」とした方が意図として伝わると思う。 | 【対応案】 原案のままとする。 (理由) 公表済みの内容と合わせた記載としているため。 |
| 5 | 小林委員 | 前文 (美術館を取り巻く社会状況と求められる役割) | 「障がいのある人への合理的配慮の提供」とすると、バリアフリー化、アクセスの確保、情報の確保が一般的にイメージされる。「障がいのある人への合理的配慮はもとより、包摂的なプログラムの提供」などふくらみのある形で記載した方がよい。 | 【対応案】 「合理的配慮の提供とそのための環境整備(情報保障などの障がい特性に応じた配慮やサービスの提供、鑑賞サポート等)」を追加する。 (理由) 委員ご意見を踏まえ、変更する。 |

評価委員からの意見を踏まえた中期目標修正について

資料2

| 番号 | 委員名 | 該当箇所 | 委員意見要旨 | 修正案等 |
|----|------------------|------------------------|---|---|
| 6 | 内田委員長 | 前文 (第1期における基本的な方向性) | 「障害」は「障がい」と記載した方が良い。 | 【対応案】 「障害」を「障がい」に変更する。 (理由) 誤植のため、変更する。 |
| 7 | 二村委員 | 第3から第5 | 第2の文末は「〇〇ものとする。」としているのに対し、第3から第5の文末は「〇〇する。」としているため、統一した方が良い。 | 【対応案】 第3から第5の文末に「ものとする。」を追加する。 (理由) 委員ご意見を踏まえ、追加する。 |
| 8 | 内田委員長 ・二村委員 | 第3 3 | (2)と(4)は連続していた方が良い。(3)を(1)の後か、時系列的に考えて(4)と入れ替えた方が良い。 | 【対応案】 (3)と(4)と入れ替える。 (理由) 委員ご意見を踏まえ、変更する。 |
| 9 | 二村委員 小林委員 | 第3 第4 2① 第4 3② | 「2館一体運営の効果」が経費の部分でのみ強調されているように見える。第3の運営体制や事務等の効率化には記載がないが、ここにも関係するのではないか。 個別の項目では「2館一体運営の効果」に関する記載を削除し、前文の「(第1期における基本的な方向性)」に目標の一つとして追加してはどうか。 今の記載では、2館一体運営をすることでどんな効果があるのかがあまりわからない。2館の一体的な組織体制の構築に関することが含まれているのであれば、第3(3)にも明記すべきだと感じた。 第3の4に「2館一体運営の効果」についての記載がなく、資金や経費の面だけに記載があるが、人事や組織のあり方でも「2館一体運営の効果」の発揮を意図している部分があると思うので、どの部分で効果を見込んでいるのかを明確にした方が良いと感じた。 | 【対応案】 前文「(第1期における基本的な方向性)」に、目標の一つとして、「戦略的な法人・美術館運営ができる体制を構築し、自主的・自律的な業務運営を推進するとともに、組織体制、人事制度、事務の効率化、財源の確保、経費の執行管理等、2館一体運営の効果が見込まれる事項においては、美術館活動の充実に配慮しながらその効果を発揮させ、効率的・効果的な業務運営を図る。」と追加する。 ①「2館一体運営の効果を発揮して、」を削除する。 ②「2館一体運営による効果を発揮し、」を削除する。 (理由) 委員ご意見を踏まえ、修正する。 |

評価委員からの意見を踏まえた中期目標修正について

資料2

| 番号 | 委員名 | 該当箇所 | 委員意見要旨 | 修正案等 |
|----|-------|-------------------------------------|---|---|
| 10 | 内田委員長 | 第3 1(3)① | 「学芸員、陶芸指導員及び事務職員等」が、文末の「一体的な組織体制を整備し、運用する。」の主語に見えるため違和感がある。2文に分けるか、主語を明示した方が良い。 | 【対応案】 ①を「保存・教育普及等を含む学芸員(以下「学芸員」という。)及び陶芸指導員や事務職員等がそれぞれの専門性を生かして役割を果たすとともに、中・長期的な美術館活動の実現のために、様々な職種の職員が同等な立場で美術館の意思形成や企画・立案に参画するなど、協働を促進できるような一体的な組織体制を整備し、運営するものとする。」に変更する。 (理由) 委員ご意見を踏まえ、変更する。 |
| 11 | 小林委員 | 第3 1(3) 第3 3(4) (修正後 第3 3(3)) | 学芸員に教育普及、保存修復、情報などの専門人材が含まれているのであれば、それを明確化した方が良い。各館によって学芸員と位置付けられているかどうか異なる。 言葉の定義として、最初に記載がある部分で「学芸員(美術史、考古、教育普及、保存修復等)」と記載しても良い。 | 【対応案】 ①を「保存・教育普及等を含む学芸員(以下「学芸員」という。)及び陶芸指導員や事務職員等がそれぞれの専門性を生かして役割を果たすとともに、中・長期的な美術館活動の実現のために、様々な職種の職員が同等な立場で美術館の意思形成や企画・立案に参画するなど、協働を促進できるような一体的な組織体制を整備し、運営するものとする。」に変更する。 (理由) 委員ご意見を踏まえ、変更する。 |
| | 富田委員 | | 「保存修復・教育普及等を含む学芸員」など、3つほど例示をして、「等」をつければ職種を包含できると思う。 | |
| | 野々川委員 | | 細分化して記載しすぎると記載漏れが出る可能性がある。組織体制の観点からも、ある程度柔軟に対応できる記載にした方が良い。 言葉の定義として記載するのであれば、第3 1(3)に記載するのはどうか。 | |
| 12 | 小林委員 | 第4 1 | 「ギャラリー運営」は貸しギャラリーのことか。そうであれば、「ギャラリー運営」という文言は展覧会運営とも受け取れるので、明確に記載した方が良い。 | 【対応案】 「ギャラリー運営」を「展示室の貸出等」に変更する。 (理由) 委員ご意見を踏まえ、変更する。 |
| 13 | 二村委員 | 第5 4 | 他の項目では、文章の構成を「〇〇のために、〇〇する。」としているため、記載方法を統一させた方が良い。 | 【対応案】 「運営状況の透明性を確保し、法人の活動に対する理解及び信頼を得るため、」の位置を文頭に変更する。 (理由) 委員ご意見を踏まえ、変更する。 |